

高等学校地歴・公民科科目の在り方に関する特別チームにおける検討事項

1. 高等学校の地理歴史科、公民科に置く新科目の内容の検討について

(1) 「歴史総合（仮称）」

- ① 当該科目を通じて育むべき資質・能力について、特にどのような思考力・判断力・表現力等（事象を捉える教科・科目特有の視点や考え方など）を育むか
- ② 歴史の転換等を捉えた学習の在り方
 - ・歴史の転換期の軸
 - ・学習対象となる時代
- ③ 日本と世界の動きの関連付け

(2) 「地理総合（仮称）」

- ① 当該科目を通じて育むべき資質・能力について、特にどのような思考力・判断力・表現力等（事象を捉える教科・科目特有の視点や考え方など）を育むか
- ② 地理教育に求められる今日的要請への対応

(3) 「公共（仮称）」

- ① 当該科目を通じて育むべき資質・能力について、特にどのような思考力・判断力・表現力等（事象を捉える教科・科目特有の視点や考え方など）を育むか
 - ・様々な課題を捉え、考察するための基準となる概念や理論
- ② 公民教育に求められる今日的課題への対応

2. 高等学校地理歴史科、公民科に置く科目間の関係の整理（高等学校における各科目の標準単位数を含む）について

(1) 「歴史総合」と「地理総合」の地理歴史科としてのまとめ

- (2) 新設する科目（「歴史総合」「地理総合」「公共」）について、高校生として共通に求められる資質・能力を確実に育む共通必履修科目の設計と生徒の興味・関心や進路に応じた選択科目の設計（高大接続の観点を含む）

3. 小・中学校社会科等と高等学校地理歴史科、公民科との内容の系統性について

(1) 小学校社会科・中学校社会科の各分野（地理的分野、歴史的分野、公民的分野）と高等学校の関係教科・科目の内容の系統性

4. その他

(1) 適切な指導がなされるための要件（周知・広報、研修等）

社会・地理歴史・公民ワーキンググループにおける検討事項

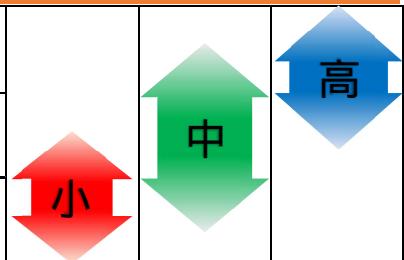
1. 社会・地理歴史・公民科を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・社会・地理歴史・公民科を学ぶ本質的な意義や他教科との関連性について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性など）
 - ・特に ii) に関わって、どのような思考力・判断力・表現力等（事象を捉える教科・科目特有の視点や考え方など）を育むかについて
 - ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を通じた社会・地理歴史・公民科において育成すべき資質・能力及び内容の系統性（例えば、小・中学校における世界に関する学習の扱い、政治的教養を育むための教育の扱いなど）について
 - ・高等学校における新設科目等の具体的な内容について
2. アクティブラーニングの三つの視点（※）を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき社会・地理歴史・公民科の指導等の改善充実の在り方について
3. 資質・能力の育成のために重視すべき社会・地理歴史・公民科の評価の在り方について
4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

※アクティブラーニングの三つの視点（企画特別部会「論点整理」18ページ（及び論点整理補足資料スライド26）参照）

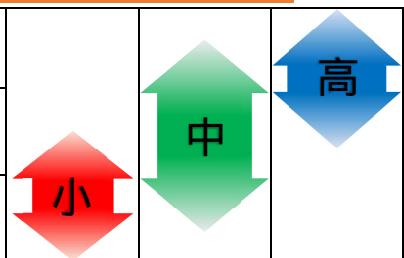
- i) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
- ii) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- iii) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

社会的な見方や考え方を用いて、社会の在り方や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力

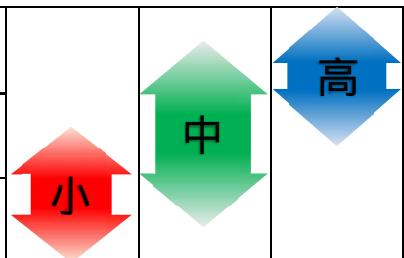
- ・社会の在り方や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察できる
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できる
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的に考察できる

社会的な見方や考え方を用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想する力

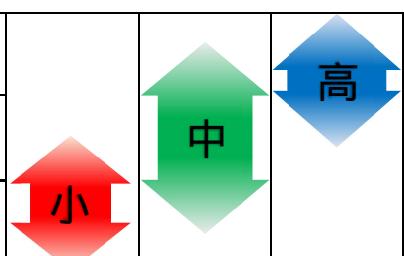
- ・社会に見られる複雑な課題を把握して、身に付けた判断基準を根拠に解決に向けて構想できる
- ・社会に見られる課題を把握して、解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断できる
- ・社会に見られる課題を把握して、解決に向けて社会への関わり方を選択・判断できる

考察したこと、構想したことを説明する力

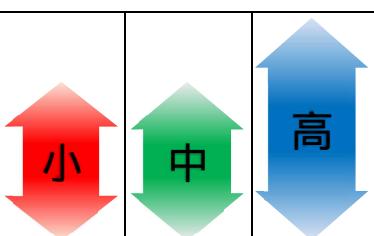
- ・適切な資料・内容や表現方法を選び、社会的事象についての自分の考えを効果的に説明できる
- ・主旨が明確になるように内容構成を考え、社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる
- ・根拠や理由を明確にして、社会的事象についての自分の考えを論理的に説明できる

考察したこと、構想したことを基に議論する力

- ・合意形成を視野に入れながら、社会的事象について構想したこと、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論できる
- ・他者の主張を踏まえたり取り入れたりして、社会的事象についての自分の考えを再構成しながら議論できる
- ・他者の主張につなげたり、立場や根拠を明確にしたりして、社会的事象についての自分の考えを主張できる

*参考 学習の見通しを持ち追究の結果を評価する力

- ・追究の過程や結果を評価し、不十分な点を修正・改善することができる
- ・追究の結果を振り返り、学んだことの成果等を自覚できる
- ・学習問題（課題）を把握し、追究の見通しを持つことができる



社会、地理歴史、公民における学習過程の例（たたき台）

平成28年4月6日
教育課程部会社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 資料10



主な学習過程の例

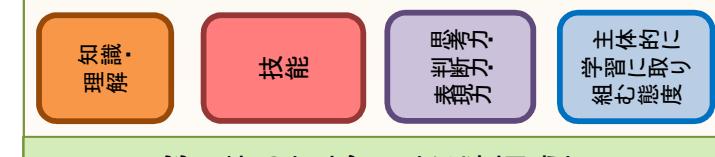
- 学習課題を設定する
・社会的事象を知る
・気付きや疑問を出し合う
・課題意識を醸成する
・学習課題を設定する

- 課題解決の見通しを立てて調べる
・予想や仮説を立てる
・調査方法、追究方法を吟味する
・学習計画を立てる

- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察する
・多面的・多角的に考察する
・話し合う（討論等）
・社会に見られる課題を把握して解決に向けて構思する
・複数の立場や意見を踏まえて解決について選択・判断する

- 考察したことなどをまとめて学習課題をまとめて結論を出す
・学習結果をまとめて他の児童生徒などと話し合って学習課題などにまとめるとする

- 学習を振り返って考察する（再構成）
・自分の調べ方や学び方、結果を学習結果を学校外の他人者に伝える
・新たな問い合わせ（課題）を見出したりする



能力等の育成と主な評価場面

■ 学習過程全体について留意すべき点
・各過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと
・学習活動のつながりと学びの広がり（深い学び、対話的な学び、主体的な学び）を意図した、単元の構成の工夫等が望まれること
・社会的事象については、児童生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示することなどが重要であること。その際、特定の事柄を強調しそすぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなど、特定の見方や考え方方に偏った取扱いにより、児童生徒が多面的・多角的に考察することを妨げることのないよう留意すること。また、客観的かつ公正な資料に基づいて指導するよう留意すること。

社会的事象等について調べまとめる技能（たたき台）

技能の例(小・中・高等学校)

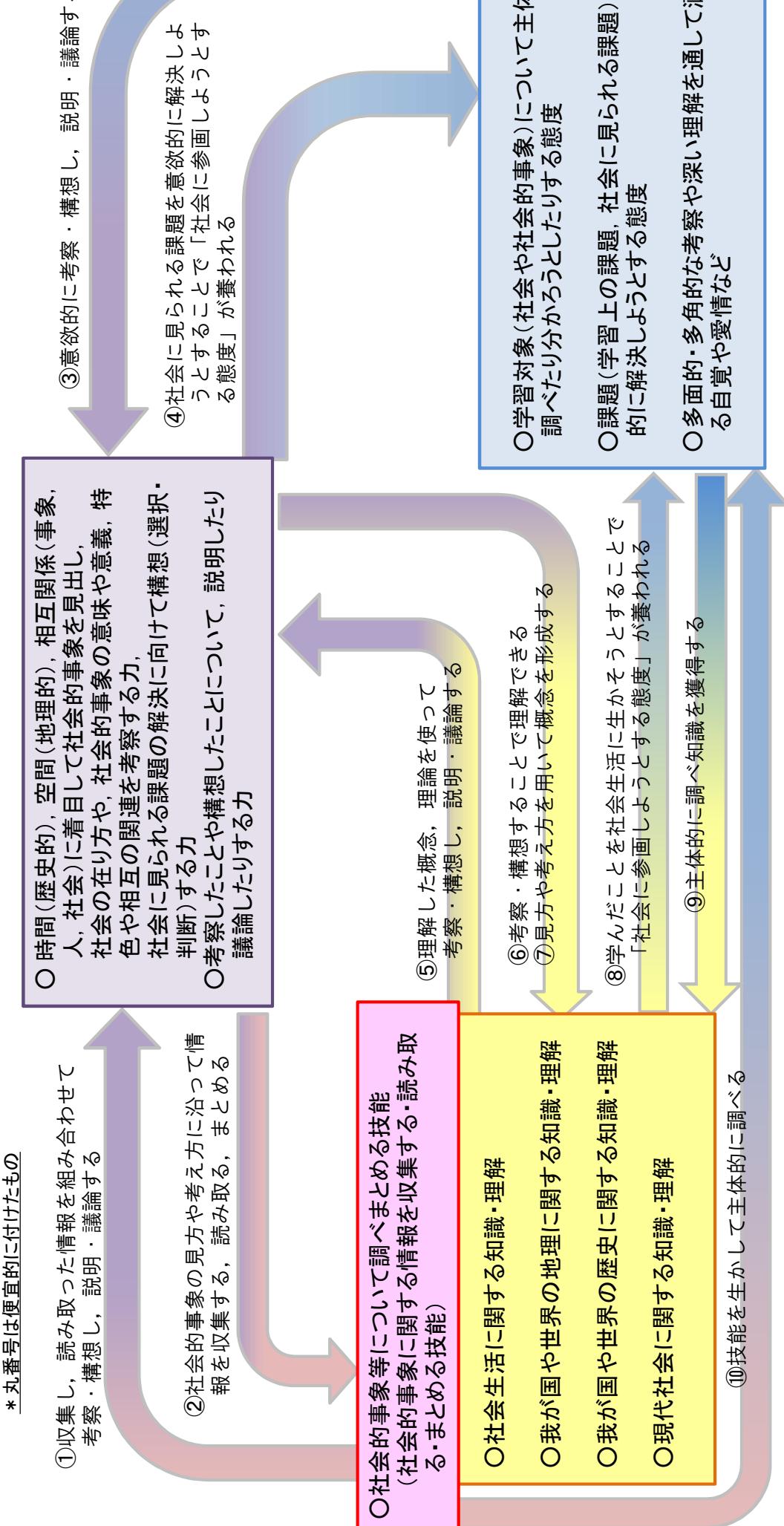
情報収集する技能	情報を読み取る技能	情報をまとめることのできる技能
<p>事象を決めて課題解決に必要な情報を収集する技能</p> <p>○野外調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の観点(数、量、配置等)に基づいて、現地の様子や実物を観察し情報を集める ・景観のスケッチや写真撮影等を通して観察し、情報を集める ・地図を現地に持つて行き、現地との対応関係を観察し、情報を集める <p>○社会調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政機関や事業者、地域住民等を対象に聞き取り調査、アンケート調査などをを行い、情報を集める <p>○資料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図(様々な種類の地図)や地球儀から、位置関係や形状、分布、面積、記載内容などの情報を集める ・年表から、出来事やその時期、推移などの情報を集める ・統計(表やグラフ)から傾向や変化などの情報を集める ・新聞、図書や文書、音声、画像(動画、静止画)、現物資料などから様々な情報を集める 	<p>【1】調査活動を通して</p> <p>○野外調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影体験などの体験活動を通して人々の仕事などに関する情報を集める ・博物館や郷土資料館等の施設、学校図書館や公共図書館など情報を活用して映像、読み物や紀行文、旅行経験者の体験記など様々な情報を集める ・コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、目的に応じて様々な情報を集める <p>【2】情報手段の特性や情報の正しさに留意して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の表題、出典、年代、作者などを確認して情報を集める ・情報手段の特性に留意して情報を集める ・情報発信者の意図、発信過程などに留意して情報を集める <p>【3】複数の情報を比べて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異なる情報(時期や地域、範囲など)を比較して読み取る ・同じ事象に関する表現(グラフや文章など)の違いを比較して読み取る ・異なる情報(地形条件と土地利用の様子など)を関連付けて読み取る ・異なる資料(年表と地図、グラフと地図など)の情報を比較したり関連付けたりして読み取る ・表し方の異なる同種の資料(複数の地図、複数のグラフ、複数の新聞など)を比較したり関連付けたりして読み取る <p>【4】資料の特性に留意して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の主題や示された情報の種類を踏まえて読み取る ・歴史資料の作成目的、作成時期、作成者を踏まえて読み取る ・統計等の単位や比率を踏まえて読み取る 	<p>【1】基礎資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取って自分のメモにまとめる ・地図上にドットでまとめる ・数値情報をグラフに転換する(雨温図など) <p>【2】分類・整理して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目やカテゴリーなどに整理してまとめる ・順序や因果関係などで整理して年表にまとめる ・位置や方位、範囲などで整理して白地図上にまとめる ・相互関係を整理して図(イメージマップやフローチャートなど)にまとめる ・地理情報システム(GIS)などを用いて、デジタル化した情報を統合したり、編集したりしてまとめる

社会、地理歴史、公民における資質・能力の構造化のイメージ（たたき台）

平成28年4月6日
教育課程会社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 資料13

国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者を目指す公民的な資質・能力の育成

社会、地理歴史、公民で獲得する 知識・理解、技能	社会、地理歴史、公民で養う 思考力・判断力・表現力等
○社会や社会的事象についての知識・理解 ○社会的事象等について調べまとめる技能	○社会的な見方や考え方を用いて、社会的事象や社会に 見られる課題について考察・構想する力 ○考察・構想したことを説明・議論する力
*丸番号は便宜的に付けたもの	



社会・地理歴史、公民における評価の観点等（たたき台）

平成28年4月22日
教科課程部会・地理歴史・公民
ワーキンググループ 資料15

社会、地理歴史、公民で獲得する
知識・技能

社会、地理歴史、公民で育成する
思考力・判断力・表現力等

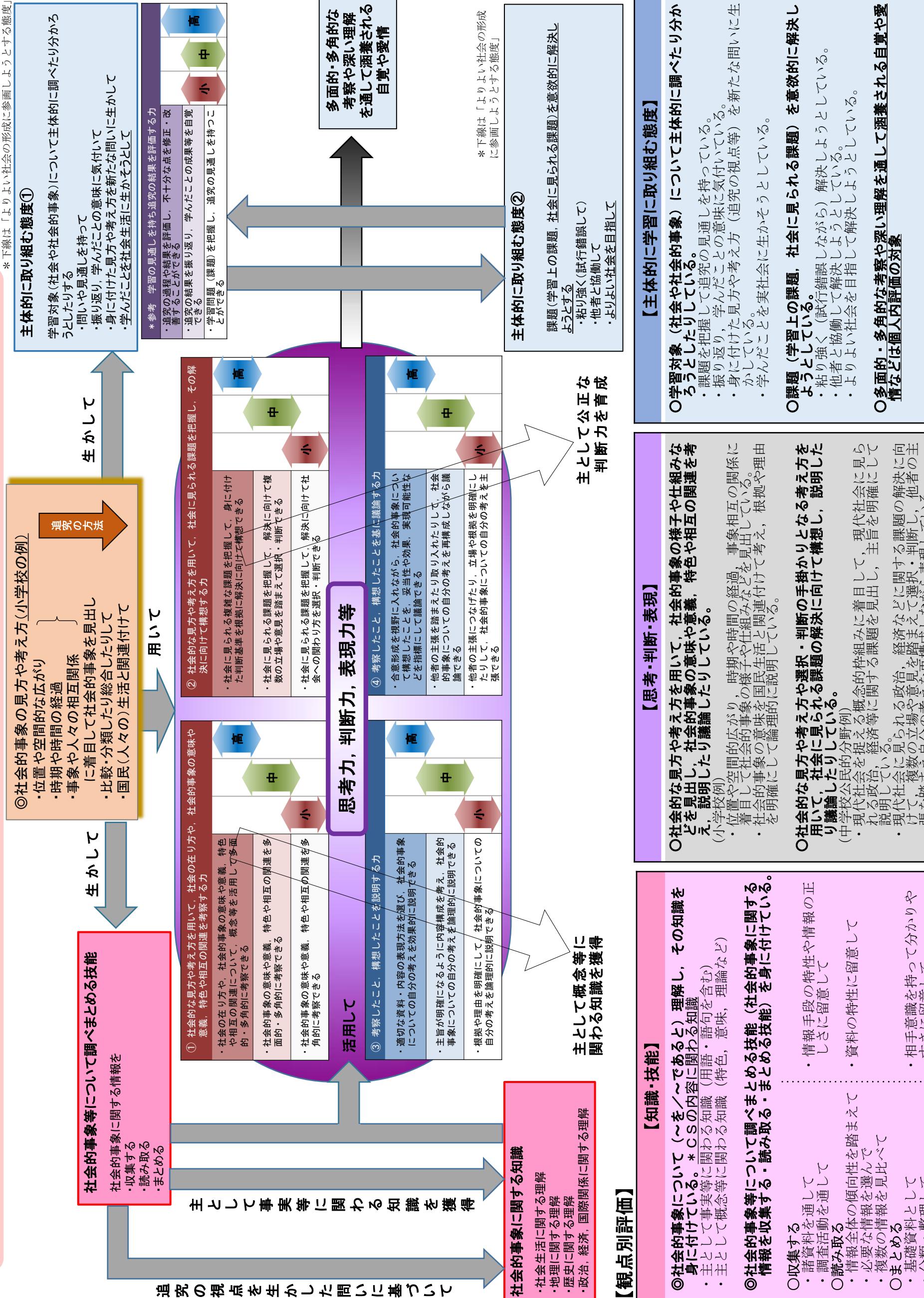
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>社会的事象について（～を／～であると）理解し、 その知識を身に付けている ・主として事実等に関する知識 （用語・語句などを含める） ・主として概念等に関する知識 (特色、意味、理論など)</p> <p>社会的事象等を調べてまとめた技能（社会的事象に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている （例：情報を読み取る技能の場合）</p> <p>情報全体の傾向性を踏まえて 必要な情報を選んで 複数の情報を見比べて 資料の特性に留意して （例：情報を読み取る技能の場合）</p>	<p>社会的な見方や考え方を用いて、社会的事象の様子や仕組みなどを見出し、社会の在り方や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を考察している</p> <p>社会的な見方や考え方を用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けた構想している 考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている</p>	<p>学習対象（社会や社会的事象）について主体的に調べたり分かろうとしたりしている ・問い合わせや追究の見通しを持つ ・振り返り、学んだことの意味に気付いて ・身に付けた追究の視点を新たに生かして ・学んだことを社会生活に生かそうとして</p> <p>課題（学習上の課題、社会に見られる課題）を意欲的に解決しようとしている ・粘り強く（試行錯誤して） ・他者と協働して ・よりよい社会を目指して</p>

各教科等の評価の観点のイメージ(案)

観点(例) 実際に設定する各教科の観点は、教科の特質に対応して検討	知識・技能 (例) を理解している / を身に付けることができる / することができる / 能を身に付けている	思考・判断・表現 (例) の知識 の技能 の技術	主体的に学習に取り組む態度 (例) 各教科の特質に応じ育まれる見方や考え方を身につけたり、思考・判断・表現をしようとしている
各観点の趣旨の イメージ(例) 具体的な記述については、 各教科の特質を踏まえて検討			

社会、地理歴史、公民を通じて育成すべき資質・能力の三つの柱が学習において結び付くイメージ(たたき台)

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成(高)



社会、地理歴史、公民における教育のイメージ（たたき台）

【高等学校】

公民科

△広い視野に立って、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。

- 日本及び世界の歴史の展開と生活・文化的地域的特色について理解する平和で民主的な国家及び社会の形成者を身に付けるようになる。
- 地理や歴史に關わる諸事象について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力、考察・構想したことによる結果を主題に解決しようとする態度を養うようになる。
- 地理や歴史に關わる事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めるようになる。

△広い視野に立って、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。

- 選択・判断の手掛けりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済等に関する諸課題について理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようになる。
- 現代の諸課題について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、構想したりする力、合意形成を視野に入れたながら構思したことによる結果を議論する力を養うようになる。
- 人間と社会の在り方に關わる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての自覚、自己を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力しあうことの大切さについての自覚を深めようとする。

【中学校】社会科

△広い視野に立って、グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者を目指す公民的な資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等について理解するとともに、調査や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようになる。
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題について構想したりする力、考察・構想したことなどを説明したり、それを基に議論したりする愛情、他国や他の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めるようになる。
- 主体的に社会の形成に参画しようとしたり、資料から読み取った情報を基にして社会的事象について考察し表現したりするなどの課題解決的な学習の充実を図る。
- 地理的分野では、地理的技能の育成を一層重視するとともに、持続可能な社会づくりの観点から様々な課題を考察させ、歴史的分野では、グローバル化に対応する観点から世界の歴史の扱いを充実させ、公民的分野については、社会事象と関連付けて理解させて指導の充実を図る。

【小学校】生活科(第3～6学年)

△グローバル化する国際社会に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者を目指す公民的な資質・能力を養うために、社会的な見方や考え方を培い、以下の三つの資質・能力を育成する。

- 地域や我が国の地理的環境、社会の仕組みや働き、地域や国際統合、それらと人々の生活との関連について理解する力、思考・判断したことを表現する力を養うようになる。
- 社会的事象について、課題を意欲的に解決しようとするとともに、多角的な考察や理解を通して涵養される地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土や歴史に対する愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の國々の人々と共に生きいくことの大切さの自覚を養うようになる。
- 社会的事象から学習問題を見出し、問題解決の見通しをもつて他者と協働的に追究し、追究結果を振り返るなど、問題解決的な学習の充実を図る。災害における地方公共団体の働き、地域の人々の工夫や努力、地理的・歴史的觀点を踏まえた災害に関する理解、防災情報に基づく適切な行動の在り方等に関する指導の充実を図る。

【小学校】生活科(第1、2学年)

△自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などとの関わりに気付き、愛着を持つことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようになる。

- 身近な人々、社会及び自然との関わりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようになる。
- 身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。
- よいことや悪いことが分かり、相手の立場に立つて行動するようになり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、決まりの大切さが分かり守るようになる。
- 情報を伝え合ったり、情報に基づき思い合わせたりするようになるとともに、公共の施設を大切にしたり、国旗や国際理解への意識等が芽生えるようになる。
- 身近な事象に好奇心や探求心を持って思いを巡らしながら積極的に関わる。

幼児教育

社会的な見方や考え方（追究の視点や方法）の例（たたき台）

○社会的な見方や考え方は、小・中・高等学校の各「見方や考え方」を総称する呼称であり、社会の在り方や、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察する際の「追究の視点や方法」である

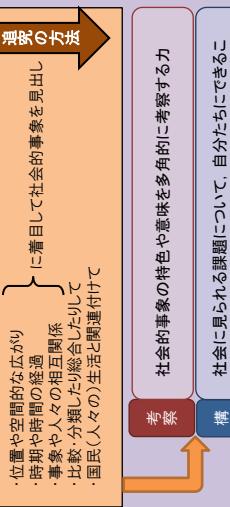
追究の視点を生かした、考察や構想に向かう「問い合わせの例

社会、地理歴史、公民における思考力、判断力

○考えられる追究の視点例

- 位置や空間的な広がりの視点
地理的位置、分布、地形、環境、気候、範囲、地域構成、自然条件、社会的条件、土地利用など
- 時期や時間の経過の視点
時代、起源、由来、背景、変化、発展、継承、維持、向上、計画、持続可能性など
- 事象や人々の相互関係の視点
工夫、努力、願い、業績、連携、つながり、影響、多様性と共生（共に生きる）など

○社会的見方や考え方



- ・どのように広がっているのだろう
・なぜそこまで広がっているのだろう
・地図によって気候はどうどのように異なるのだろう
- ・いつどんな理由で始まったのだろう
・どのように変わってきたのだろう
・なぜわざわざそれに着いているのだろう
- ・どのような工夫や努力があるのだろう
・どのような工夫や努力が必要なのだろう
・なぜ〇〇と〇〇の協力が必要なのだろう
- ・どのように続けていくことがよいのだろう
・共に生きていって何が大切なのだろう
- ・それは、どこに位置するんだろう
・それは、どのように分布しているのだろう
・そこは、どのような場所だろう
- ・そこでの生活は、まわりの自然環境からどのような影響を受けているのだろう
・そこでの生活は、まわりの自然環境にどのような影響を与えているのだろう
・そこでの生活は、その他の場所とどのような影響を受けているのだろう
- ・そこは、それ以外の場所とどのような関係を持つているのだろう
・その地域は、どのような特徴があるのだろう
- ・それは、どこにあるののように広げる、どのような場所とする、どのような自然の恩恵を求める、どのように自然に働き掛ける、他の場所とどのような関係を持つ、どのような地域となるべきなのだろう
- 地域に関する視点
一般的共通性、地方的特殊性など
- 空間的相互依存作用に関する視点
関係性、相互性など

- 年代の基本に関する視点
時期、年代、時代区分など
- 諸事象の推移や変化に関する視点
変化、発展、時代の転換など
- 諸事象の特色に関する視点
相違、共通性、時代の特色など
- 事象相互の関連に関する視点
原因、背景、ねらい
結果、影響、意味、意義など

○地理的分野

- ・いつどこで、誰によつておこつたか
・前の時代などによりて変わったか
・どのような時代だったか
・なぜおこつた（何のために行われたのか）
・どのような影響を及ぼしたか
- ・どんな選択が可能だったか（背景）
・なぜそのような判断をしたと考えられるか（ねらい）

- 現代社会を扱える視点
対立と合意、効率と公正、個人の尊重、自由、平等、選択、配分、法的安定性、多様性など
- 社会に見られる課題の解決を構想する視点
対立と合意、効率と公正、比較衡量、自由・権利と責任・義務、財源の確保と配分、利便性と安全性、国際協調、持続可能性など

○歴史的分野

- ・私たちにとって何よりも何よりも大切なのは何だろうか
・なぜ市場経済といふ社会組みがあるのか、どのような機能があるのか
・民主的な社会生活を営むために、なぜ法に基づく政治が大切なのか
- ・よりよい決定の仕方とはどのようなものか
・社会保障などの財源の確保の問題をどうに解決していくたらいいか
・民主政治を推進するために何が必要か
・世界平和と人類の福祉の増大のためにどうなことができるか

○公民的分野

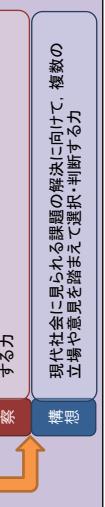
- ・市場経済において個々や人々は價格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかを決めていくこと、また、価格による生産・消費するかに間にわって、人間の物的資源を効率よく分配する働きがあることなどが、市場経済の基本的な考え方である
- ・民主的な社会における法は、国民生活の安定と福祉の向上を目指し、国民の意思の自らわれとして国民の代表によって構成される議会によって制定されるものであり、國や地方公共団体は、国民の自由と権利を尊重しないことの大切である。
- ・公の妥当性を判断する際に、無駄を省く効率」と決定の手続きや内容についての「公の妥当性が必要である」
・財政に關して、少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえ、財源の確保とましゃい配分について対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察・判断することが大切である。
・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題に対しては、経済的、技術的な協力などが大切である



○社会的見方や考え方



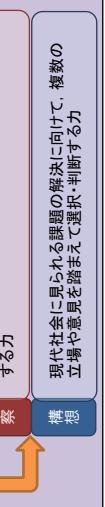
○歴史的見方や考え方



○現代社会を扱える見方や考え方



○現代社会



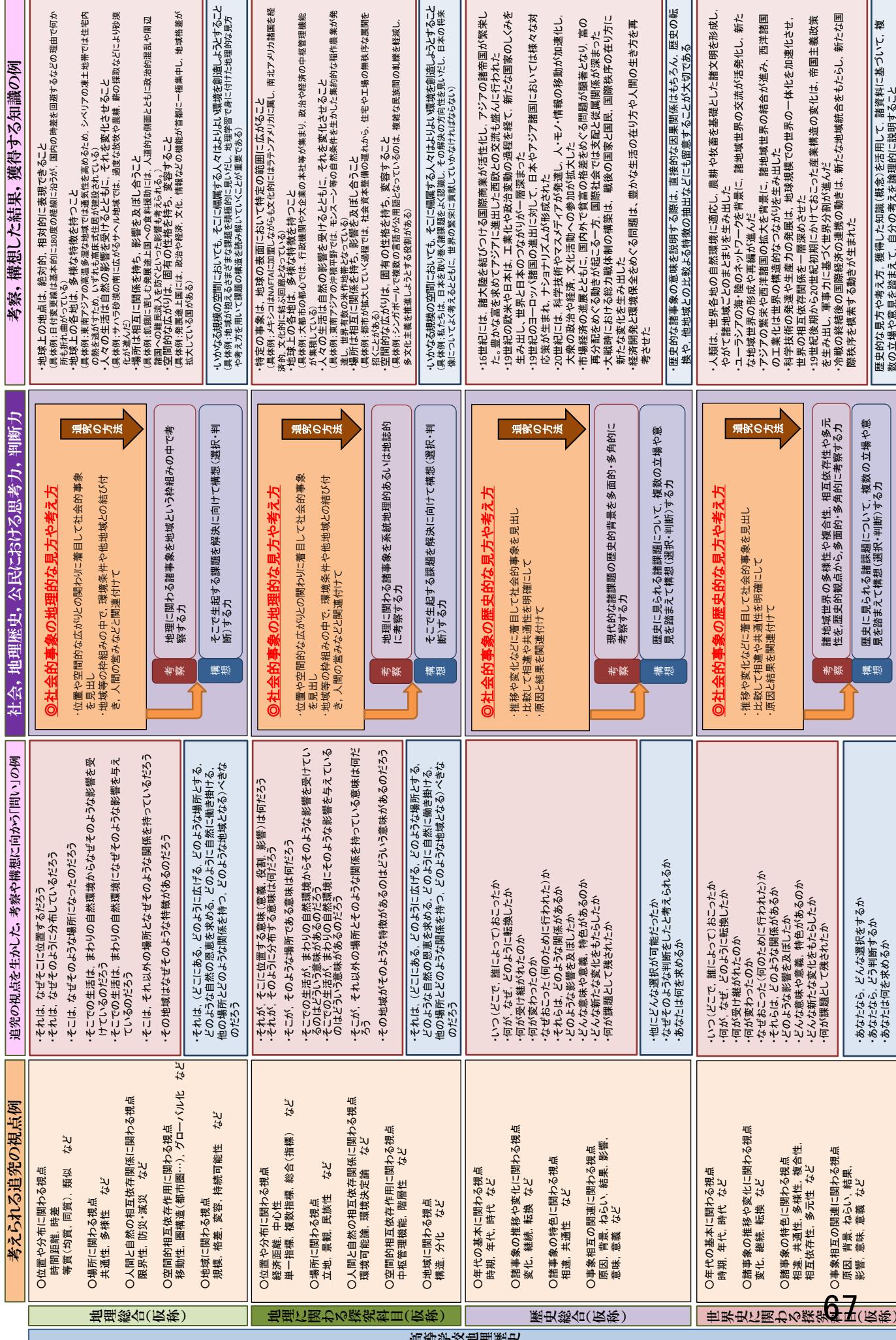
○公民的見方や考え方



○公民的見方や考え方

社会的な見方や考え方

(追究の視点や方法) の例 (たたき合)



社会的な見方や考え方（追究の視点や方法）の例（たたき台）

追究の視点を生かした、考察や構想に向かう「問い」の例

社会、地理歴史、公民における思考力、判断力

考察、構想した結果、獲得する知識の例

考えられる追究の視点

○時代の基盤に關わる視点
時期、年代、時代区分など
○諸事象の推移や変化に關わる視点
探究、発展、時代の転換など
○諸事象の特性に關わる視点
相違、共通性、時代性、多様性
地域性、など
○事象相互の関連に關わる視点
原因、背景、ねらい、結果
影響、意味、意義など
○諸事象の位置付けに關わる視点
論理性、客觀性、妥当性など

いつどこで、誰によつておこつたのか
・何が、なぜ、どのように推移したのか
・何が、どのようになりますか
・どのような背景が生じたのか
・どのような時代時期についたのか
・なぜおこつた（向ひ）ために行われたのか
・どのような関係性が見いだせるのか
・どのような意味や特徴があるのか
・どのような影響を及ぼしたのか
・何が課題として残されたか
・どのような影響を及ぼすと予想できるか
・なぜその判断を下した者かられるか
・他にどのような選択ができるか
・どのように意味付けることができるのか

・豊物や遺跡、様々な歴史資料は、現在の我が国の文化や伝統を考察する上で重い日本の古代の手がかりとなってきた
・日本の社会の変遷の背景の一つには、東アジア世界の変化が存在する
・中世の社会では、武士勢力や宗敎勢力の拡大や、庶民の台頭など權力の多様化が新しい文化や価値が生じたのか
・戸時代初期の経済発展は、町人や富農に文芸の普及や生活文化の上昇をもたらし、文化的な手足を成長させた
・18～19世紀前半、経済、産業革新へつながつて、社会の矛盾を深め、新たな社会構造の構築を促し、明治維新へつながつていった
・1920年代の経済状況は、人々の政治や社会に対する評価や要求に変化をみる
・戰後日本経済の性質は、冷戦の國際状況と密接に関係して展開した
・人物や事象の歴史的な意義の判断に際しては、得られた知識（概念）を活用し、諸資料について、複数の立場や意見を踏まえ、自分の考えを論理的に説明できることが大切である

日本史に関する視点

倫理（仮称）

・推移や変化などに着目して社会的事象を見出し
・比較して差異や共通性を明確にして
・原因と結果を関連づけて

公共（仮称）

倫理（仮称）

・自らの生き方を問い、自らの体験や悩みを振り返ることを通して自らを成長させるとともに、人間は社会的存在であることを認識し、お話を通じてお互いを高め合うことの両者によってよりよい公共的な空間を作り出していくことが大切である

政治経済（仮称）

倫理（仮称）

・今まで受け継がれてきた蓄積や先人の取組、知恵などを踏まえ、様々な立場や文書等を背景にして社会が成り立っている
・行為の結果として、個人の幸福とともに、社会全体の幸福を重視する考え方と、「行為の結果よりも、行為の動機となる人間的義務としての公正などを重視する考え方」があり、両者ともに活用し、自分も他者もどちらに納得できる解を見出すことが大切である

社会を捉える見方や考え方

倫理（仮称）

・「自分らしい生き方」を問い、自らの人生観や価値観を踏まえ、社会的事象を多面的に考察する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・人間と社会の在り方を捉える諸概念に着目して社会的事象を意識する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・公共的な空間に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて、社会を形成する主として構思（選択・判断）する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・それ自身個體あるいはものを求め、正しいいきを運び質とそれを実行する意志

基礎の方法

倫理（仮称）

・人間としての在り方生き方を捉える力

基礎の方法

倫理（仮称）

・人間としての在り方生き方に対する理解と判断を調整していくことが大切である

基礎の方法

倫理（仮称）

・自らの人生をどう生きればいいか、生きることの意味は何か、人間とは何か

基礎の方法

倫理（仮称）

・他人はどう生き、社会でどう生きていけばいいか、良識ある公民としていかに生きるべきか、いかに生きるべきか

基礎の方法

倫理（仮称）

・人間は何を知るのか、なぜ世界が存在するのか、人間はどのような位置づけで存在するのか、

基礎の方法

倫理（仮称）

・哲学や宗教や芸術が何を問い、どのような答えを見出してきたか

基礎の方法

倫理（仮称）

・自然などどのように関わり合つて生きればよいか。自然科学で知りうることと倫理学で求めることとの違いはどこにあるか

基礎の方法

倫理（仮称）

・グローバル化が進む中で、異文化と共に生ずるべきことはどのような文化がある

基礎の方法

倫理（仮称）

・異なる文化が共生するべきことはどのような文化がある

基礎の方法

倫理（仮称）

・望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方はどう

基礎の方法

倫理（仮称）

・政治の意義と機能はどのようなものであるか

基礎の方法

倫理（仮称）

・経済活動の意義はどのようなものであるか

基礎の方法

倫理（仮称）

・社会の在り方や問題を捉える諸概念に着目して社会的事象を

基礎の方法

倫理（仮称）

・社会的事象を踏まえ、現代の倫理的諸問題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・社会の在り方と相対する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・社会的事象の意味や意義を多面的、多角的に考察する力

基礎の方法

倫理（仮称）

・社会に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて構思（選択・判断）、合意形成する力

社会、地理歴史、公民で育成すべき資質・能力の整理（たたき台）

知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)		思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	学びに向かう力・人間性 (どのように社会、世界と関わりよりよい人生を送るか)
小学校社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活に関する理解 (地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史、それらと人々の生活との関連) 社会的事象について調べまとめる技能 (社会的事象に関する情報を適切に集める・読み取る・まとめる技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を選択・判断する力 思考・判断したことを説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について主体的に調べたり分からうとしたりする態度 (環境保全、自然災害防止、産業の発展、情報化の進展、先人の業績や文化遺産、我が国の政治の動き、世界の国々との関わり) 学習問題や社会に見られる課題を意欲的に解決しようとする態度 多角的な考査や理解を通して涵養される自覚や愛情など (地域社会の一員としての自覚、地域社会に対する誇りと愛情、我が国に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚)
中学校社会	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する理解 社会的事象について調べまとめる技能 (調査や諸資料から、社会的事象に関する様々な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題を把握して、解決に向け複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象について主体的に調べたり分からうとしたりする態度 課題(学習上の課題、社会に見られる課題)を意欲的に解決しようとする態度 多面的・多角的な考査や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など (我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国との文化を尊重することの大切さについての自覚)
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土とともに世界の諸地域における地理に関する理解 (日本や世界の地域構成、日本を含む世界の環境と生活の多様性、州単位の世界地図、地方単位の日本本地誌、身近な地域の調査) 地図や景観写真などの諸資料から、地理に関する情報を効果的に収集する、読み取る・まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 地理に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握して、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 趣旨が明確になるように内容構成を考え、自分の考えを論理的に説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の諸地域、自分たちが生活している身近な地域に関する社会的事象について主体的に調べたり分からうとしたりする態度 地域の地理的な諸課題を意欲的に解決しようとする態度 多面的・多角的な考査や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など (身近な地域や我が国の国土に対する愛情、世界各地の異なる多様な生活文化を尊重しようとする自覚)
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の特色を踏まえた我が国の歴史(直接的な関わりや間接的な影響を及ぼす世界の歴史を含む)に関する理解 (歴史上の人物との文化遺産、伝統と文化の特色、歴史に見られる国際関係や文化交流のあらまし) 年表などの諸資料から、歴史に関する情報を効果的に収集する、読み取る・まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史に関する事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握して、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断したりする力 趣旨が明確になるように内容構成を考え、自分の考えを論理的に説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の諸事象や身近な地域の歴史、他民族の文化や生活に関する社会的事象について主体的に調べたり分からうとしたりする態度 歴史上の諸事象から見出した課題を意欲的に解決しようとする態度 多面的・多角的な考査や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など (歴史上の人物と文化遺産を尊重することの大切さについての自覚、我が国の歴史に対する愛情や国民としての自覚、国際協調の精神)
公民的分野	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を捉える概念的枠組みの理解 (現代社会の政治、経済、国際関係に関する理解 (現代社会と文化、現代社会を捉える見方や考え方、市場の動きと経済、国民の生活と政府の役割、人間の尊厳と日本国憲法の基本的原則、世界平和と人類の福祉の増大) 統計や新聞などの諸資料から、現代の社会的事象に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活における物事の決定の仕方、現実の政治、個人、企業及び国や地方公共団体の経済活動、現実の国際関係 現代社会に見られる課題の解決に向けて意欲的に考察・構想し、説明・議論しようとする態度 他者と協働して考え、社会に参画しようとする 多面的・多角的な考査や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など (自國を愛しその平和と繁栄を図ることや、各國が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚) 	

知識や技能

(何を知っているか、何ができるか)

思考力・判断力・表現力等

(知っていること、できるなどをどう使うか)

学びに向かう力・人間性

(どのように社会、世界と関わる人生を送るか)

高等学校 地理歴史科 <small>科目名は全て仮称</small>	知識や技能 <small>(何を知っているか、何ができるか)</small>	思考力・判断力・表現力等 <small>(知っていること、できるなどをどう使うか)</small>	学びに向かう力・人間性 <small>(どのように社会、世界と関わる人生を送るか)</small>
	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、課題の把握、解決に向けた構想したりする力 考察構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、課題の把握、解決に向けた構想したりする力 考察構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 地理や歴史に関する諸事象について主体的に調べたり分かろうとする態度 課題(学習上の課題、社会に見られる課題)を意欲的に追究したりしようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など (日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚)

地理総合 <small>地理に関する理解 調査や地図や統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 地理規模の自然システムや社会・経済システムについて主体的に調べたり分かろうとする態度 持続可能な社会づくりに向けて、地球的、地域的課題を意欲的に追究しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など 	地理に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、系統地理的あるいは地誌的に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題の把握、解決に向けた構想したりする力	<ul style="list-style-type: none"> 地理の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の構造や変容について主体的に調べたり分かろうとする態度 持続可能な社会づくりに向けて、世界や国土の在り方について歴史的な観点から意欲的に追究しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など
地理に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、各時代の展開に応じて、各時代の歴史の考察に関する理解 <small>調査や地図や統計などの諸資料から地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 現代的な歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、現代的な課題の把握、解決に向けた構想したりする力 考察構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力 	地理に関する歴史の展開について、歴史を構成する諸要素・諸領域からの総合的な理解 <small>諸資料から歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、各時代の展開に応じて、各時代の歴史の考察に関する理解 持続可能な社会づくりに向けて、歴史の総合的な理解を踏まえて、地域や日本、世界の在り方を意欲的に探究しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など
歴史総合 <small>日本史に関する理解 多様な資料から我が国の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開について、歴史を構成する諸要素・諸領域からの総合的な理解 多様な資料から我が国の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能 	日本史に関する理解 <small>日本史に関する理解 多様な資料から世界の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開について、歴史を構成する諸要素・諸領域からの総合的な理解 多様な資料から世界の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能
世界史に関する理解 <small>諸地域世界の歴史の大好きな枠組みと展開について、主体的に調べたり分かろうとする態度</small>	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域世界の歴史の大好きな枠組みと展開について、主体的に調べたり分かろうとする態度 持続可能な社会づくりに向けて、歴史の大好きな枠組みと展開についての理解を踏まえ、世界や日本の在り方を意欲的に探究しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など 	世界史に関する理解 <small>諸資料から世界の歴史に関する情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能</small>	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域世界の歴史の大好きな枠組みと展開について、主体的に調べたり分かろうとする態度 持続可能な社会づくりに向けて、歴史の大好きな枠組みと展開についての理解を踏まえ、世界や日本の在り方を意欲的に探究しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情など

知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できるることどう使うか)	学びに向かう力・人間性 (どのように社会、世界と関わるか)
高等学校 公民科 <ul style="list-style-type: none"> 諸課題を捉え考察し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の手掛けたりとなる概念や理論の理解 倫理的主体、政治的主体、経済的主体、法的主体、様々な情報を発信・受信する知的主体、持続可能な社会づくりの主体に関する理解 社会的事象等について効果的に調べまとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 諸課題について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力 合意形成を視野に入れながら、社会的事象や課題について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論する力 	<ul style="list-style-type: none"> 人間と社会の在り方に関わる事象や課題について主体的に調べたり分かろうとする態度 現実社会の諸課題を見出し、その解決に向けた協働して意欲的に考察・構想し、説明・議論することを通じて社会に参画し、よりよい社会を形成しようとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方にについての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重しきとの大きさについての自覚など
公共 倫理	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の諸課題を捉え考察し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の手掛けたりとなる概念的な枠組みの理解 倫理的、法的、政治的、経済的主体等に関する理解 諸資料から、倫理的、法的、政治的、経済的主体等となるためには必要な情報を効果的に収集する・読み取る・まとめたる技能 	<ul style="list-style-type: none"> 選択・判断の手掛けたりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、現実の社会的事象や現実社会の諸課題の解決に向けた多面的・多角的に考察したり、構想したりする力 合意形成を視野に入れながら、社会的事象や課題について構想したことを、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論する力
政治 ・ 経済	<ul style="list-style-type: none"> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するために必要な概念や理論の理解 諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を効果的に収集する・読み取る・まとめの技能 	<ul style="list-style-type: none"> 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に調べたり分かろうとする態度 現代の倫理的諸課題を見出し、その解決に向けた協働して意欲的に考察・構想し、説明・対話することを通して、他者や社会と積極的に関わるためによりよく生きる自己を形成しようとするとする態度 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを

高等学校の数学・理科にわたる探究的科目の在り方 に関する特別チーム検討事項

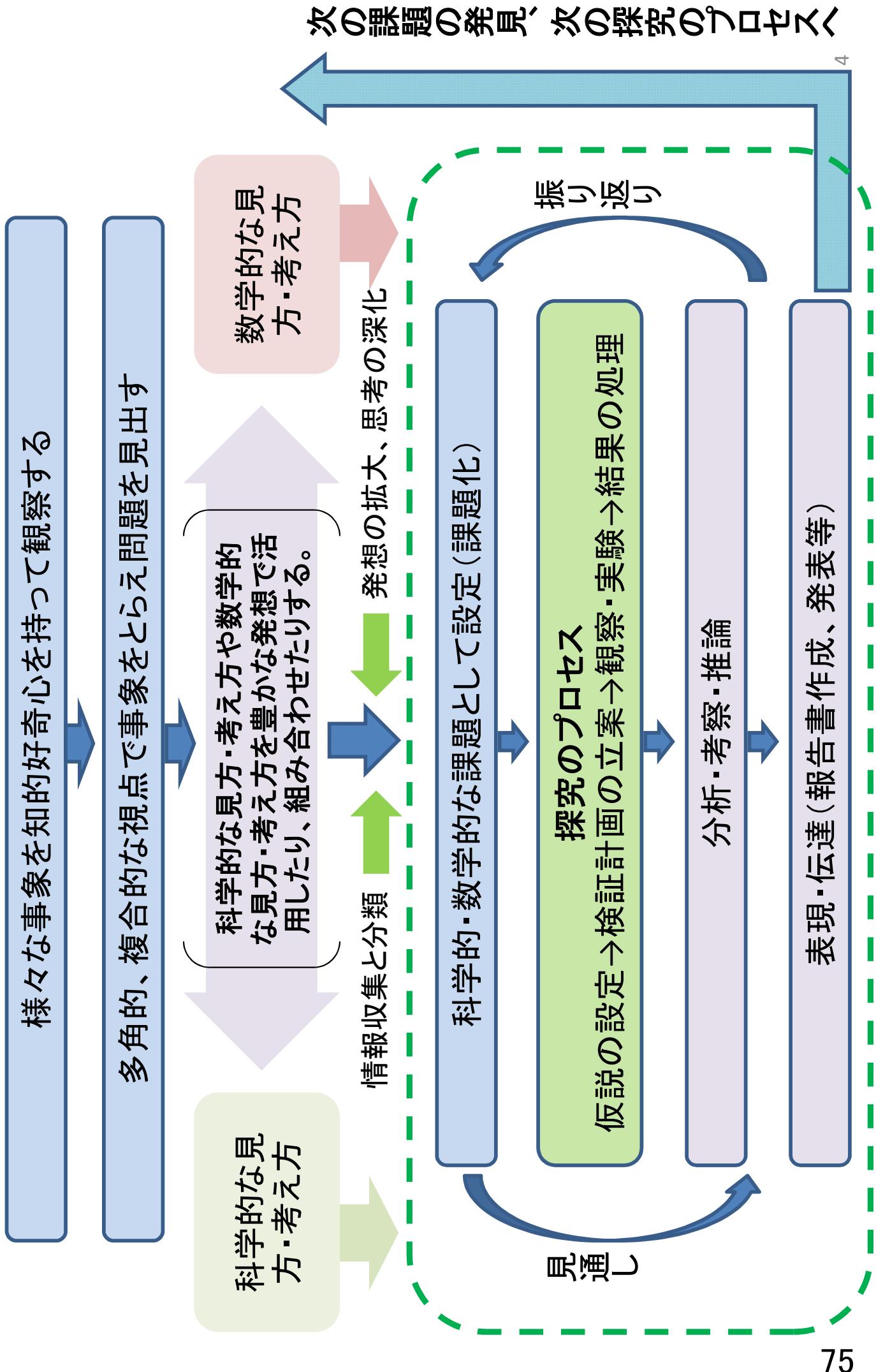
1. 数学と理科の知識や技能を総合的に活用して主体的な探究活動を行う数理探究（仮称）で育成すべき資質・能力について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性など）
2. 数理探究（仮称）の内容等について
 - ・数理探究（仮称）の目標、内容、探究的な活動の対象領域等
3. 数理探究（仮称）の指導方法及び指導に当たっての留意事項等について
4. 資質・能力の育成のために重視すべき数理探究（仮称）の評価の在り方について
5. 数理探究（仮称）の質を高め、普及させるための方策

数学・理科にこわたらぬ探究的 科目の在り方にこつじいて

2. 育成すべき資質・能力(案)

知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none">● 探究的な活動を自ら遂行するための知識・技能 例：研究テーマの設定方法 先行研究の調査方法 研究計画の立案方法 研究の進め方 データの処理、分析 研究成果のまとめ方 研究成果の発表方法 についての知識・技能	<ul style="list-style-type: none">● 教科・科目の枠にとらわれない多角的、複合的な視点で事象をとらえ、科学的・数学的な課題として設定することができる力● 科学的な見方・考え方や数学的な見方・考え方を豊かな発想で活用したり、組み合わせたりできる力● 多様な価値観や感性を有する人々との議論等を積極的に行い、それに基づいて多面的に思考する力● 探究的な学習を通じて課題解決を実現するための能力 例：観察・実験デザイン力 構想力 実証的に考察する力 論理的に考察する力 分析的に考察する力 統合的に考察する力● 探究を通して新しい知見を得る意義についての認識● 研究倫理（生命倫理等を含む。）についての基本的な理解	<ul style="list-style-type: none">● 様々な事象に対して知的好奇心を持った科学的・数学的にとらえようとする態度● 科学的、数学的課題や事象に徹底的に向き合い、考え方抜いて行動する態度● 見通しを立てたり、振り返ったりするなど、内省的な態度● 新たな価値の創造に向けた積極的に挑戦しようとするとする態度● 主体的・自律的に探究を行つていくためには必要な研究に対する倫理的な態度● 文章にまとめる力 発表・表現力

3. 新科目の学習過程のイメージ



4. 新科目の構造について(案)

研究を深める段階の考え方

- ・基礎で身につけた資質・能力を活用して自ら課題を設定し、探究活動を行う。
- ・課題に関する内容についての知識や課題を解決するための技能を自ら身につける、より深い探究活動を志向させる(共通ではない学び)。
- ・探究に当たつては、質を高めるため大学・企業等の外部機関を積極的に活用する。
- ・実験や分析自体の成否より、試行錯誤し、失敗のリスクも引き受けながら自分たちでやりきる過程を重視する。

実施段階

基礎の習得段階の必要性

- ・自ら探究プロセスを回し、質の高い深い探究活動を行なうためには、そのためのために必要な資質・能力をあらかじめ身につけておくことが必要。
- ・新たな価値の創造に向けて挑戦することの意義等について理解を深めさせることで、具体的に探究に取り組む態度を身につけることが必要。
- ・研究倫理等についての基本的な知識を身につけることが必要。

基礎段階

大学・企業等
からの支援

基礎で学んだことを用いて、自ら課題を設定し、探究活動を実施する。

校内・校外において探究の成果を発表する。

プロセスの例

校内等で成果を発表する

研究倫理について学ぶ

研究の進め方や分析の手法を考え、選択した課題等の研究を実施する

探究の手法について学ぶ

6. 評価の観点(案)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主目的に学習に取り組む態度
数理探究(仮称)	<p>探求的な活動を自ら遂行するための知識及び技能や、研究倫理にかかる基本的な知識を身に付けている。</p> <p>多様な価値観や感性を有する人々との議論や探究的な学習を通して課題を解決することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none">・多角的、複合的な視点で事象をどうぞ、科学的・数学的な課題として設定することができます。・科学的、数学的な課題や事象に徹底的に向き合い考え抜こうとする。・問題解決の過程において、見通しを立てたり振り返ったりして主体的に探究を行うことができる。	<ul style="list-style-type: none">・様々な事象に対して知的好奇心をもつて科学的・数学的にどうぞうしたり、新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦したりしようとします。・科学的、数学的な課題や事象に徹底的に向き合い考え抜こうとする。・問題解決の過程において、見通しを立てたり振り返ったりして主体的に探究を行うことができる。

算数・数学ワーキンググループにおける検討事項

1. 算数・数学を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・算数・数学を学ぶ本質的な意義や他教科との関連性について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性など）
 - ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を通じた算数・数学において育成すべき資質・能力の系統性について
 - ・算数科・数学科において育成すべき資質能力と指導内容との関係について
 - ・統計的な内容等の充実について
2. アクティブ・ラーニング（※）の三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき算数・数学の指導等の改善充実の在り方について
3. 資質・能力の育成のために重視すべき算数・数学の評価の在り方について
4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

※アクティブ・ラーニングの三つの視点（企画特別部会「論点整理」18ページ参照）

- i) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
- ii) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- iii) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

幼・小・中・高等学校を通じた算数・数学教育のイメージ(案)

平成28年3月11日
教科・数学ワーキンググループ

【高等学校】

- ◎ ① 事象を数学化し、論理的に考察し、本質を明らかにするなどの数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現したりするための知識・技能を身に付ける。
- ② 事象を数学を活用して論理的に考察する力、思考の過程を振り返って本質を明らかにし統合的・発展的に考察する力や、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③ 数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断したり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりする態度を養う。
それぞれの内容を生活と関連付けたり、生徒の疑問を取り上げたりするなど生徒の数学学習に対する関心や意欲を高める。
- 学習の過程を振り返り、本質を明らかにしたり学習内容を整理し直したりして、自ら見いたした問題を解決する活動を充実する。



高等学校基礎学力
テスト(仮称)

【中学校】

- ◎ ① 事象を数学化し、論理的に考察するなどの数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり表現したりするための知識・技能を身に付ける。
- ② 事象を数学を活用して論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いたし統合的・発展的に考察する力や、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- ③ 数学のよさを実感し、数学を生活や学習に活用して考えたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりする態度を養う。
必要な情報を生徒自らが集めたり選択したりする活動や、帰納的に考えることなどから自ら決まりを見付ける活動、見いたし決まりを既習の内容を生かして演繹的に説明する活動を充実する。
- 既習の内容を振り返って関連を図ったり、新たに学んだ内容を用いると、どのようなことができるようになったのかなどについて明らかにしたりする活動を充実する。



全国学力・学習状況調査

【小学校】

- ◎ 算数の学習を生活や学習に活用するなどの数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理するための知識・技能を身に付ける。
- ① 日常の事象を数理的にどうぞ見え通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いたし統合的・発展的に考察する力や、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。
- ② 数学のよさに気づき、算数の学習を生活や学習に活用したり、学習を振り返ってよりよく問題解決したりする態度を養う。
事象を数理的に考察したり、自分の考え方を数学的に表現し処理したり、振り返ったりする学習活動を充実する。
- 具体物、図、数、式、表やグラフ相互の関連を図り、問題解決する学習活動を充実する。



- 【幼児教育】
○ 教育課程部会幼児教育部会において、本ワーキンググループでの議論を踏まえ、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿の明確化について審議
- 生活や遊びの中で、数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、必要感に応じてこれらを活用するようになる。

小・中・高等学校を通じて算数・数学科において育成すべき資質・能力の整理(案)

	個別の知識や技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	資質・能力の育成のためには重視すべき学習過程の例*
数理探究 (仮称) 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を自ら遂行するための知識・技能 既に有している知識・技能の活用及び深究を通じて得る内容に関する探究を通じて新しい見を得る意 研究を通じて新しい知識・技能についての認識 研究倫理(生命倫理を含む)についての基本的な理解 	<ul style="list-style-type: none"> 教科・科目の枠にどらわれない自由な視点で事象をとらえ、科学的・数学的な課題として設定することができる力 科学的な見方・考え方や数学的なものの見方・考え方を柔軟に発想で活用したり、組み合せたりで生きる力 多様な価値観や感性を有する人々との議論等を積極的に行い、それに基に多面的に思考する力 探究的な学習を通じて課題解決を実現するための能力 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事象に対して知的好奇心を持つて科学的・数学的にとらえようとする態度 科学的・数学的課題や事象に徹底的に向き合い、考え方抜いて行動する態度 見通しを立てたり、振り返ったりするなど、内省的な態度 新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度 主体的・自律的に探究を行っていくために必要な態度 	<ul style="list-style-type: none"> 自然事象に対する気付き 情報収集など分類 課題の設定 仮説の設定 検証計画の立案 観察・実験の実施 結果の処理 考察・推論 表現・伝達
数学 高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 数学における基本的な概念や原理・法則の体系的理解 事象を数学化したり、數字的に解釈・表現したりするための知識・技能 数学的な問題解決に必要な知識 	<ul style="list-style-type: none"> 事象を数学的に考察する力 既習の内容を基にして問題を解決し、思考の過程を振り返つてその本質や他の事象との関係を認識し、統合的・発展的に考える力 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方や考え方のよさ、数学の用語や記号のよさ、数学的な処理のよさ、数学の実用性などを認め、事象の考察や問題の解決に数学を積極的に活用して、数学的な論拠に基づいて判断する態度 問題解決などにおいて、粘り強く、柔軟に考え、その後過程を振り返り、考察を深めたり評価・改善したりする態度 多様な考え方を生かし、よりよく問題解決する態度 	<ul style="list-style-type: none"> 問題や問い合わせの発生 問題の設定 問題の理解、解決の計画 計画の実行、結果の検討 振り返り 新たなる疑問や問い合わせの発生
数学 中学校	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解 事象を数学化したり、數字的に解釈・表現したりするための知識・技能 数学的な問題解決に必要な知識 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象を数理的に捉え、数学を活用して論理的に考察する力 既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的に考える力 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方や考え方のよさ、数学的な処理のよさ、数学の実用性などを実感し、様々な事象の考察や問題解決に数学を活用する態度 問題解決などにおいて、粘り強く考え、その後過程を振り返り、考察を深めたり評価・改善したりする態度 多様な考え方を認め、よりよく問題解決する態度 	<ul style="list-style-type: none"> 問題や問い合わせの発生 問題の設定 問題の理解、解決の計画 計画の実行、結果の検討 振り返り 新たなる疑問や問い合わせの発生
算数 小学校	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形などについての基礎的な概念や性質などの理解 日常の事象を数理的に處理するために必要な知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考える力 基礎的・基本的な数量や図形の性質や計算の仕方を見いだし、既習の内容と結びつけ統合的に考えたり、そのことを基に発展的に考えたりする力 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、問題解決などにおいて、よりよいものを探求し続けるとし、抽象的に表現されたことをより一般的に表現しようとする力 数学的な見方や考え方や学習を進んで生活や学習に活用しようとするとする態度 数学的に表現・処理したことの振り返り、批判的に検討しようとするとする態度 問題解決などにおいて、よりよいものを求め続けようとしたし、抽象的に表現されたことをより一般的に表現しようとするなど、多面的に表現しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の事象の数学化による問題設定 解決の見通し、ねらいの明確化 解決の実行 解決したことの検討 概念の深まり、統合・発展

* 学習過程については、自立的に、ときには協働的に、それぞれに主体的に取り組めるようにする。

算数・数学の問題発見・解決のプロセス

【現実の世界】

数学化
A1

日常生活や社会の事象
社会の事象

数学的に表現した
問題

B

焦点化された
問題

C

活用・意味づけ

D1

結果

D2

【算数・数学の世界】

数学化
A2

数学の事象

統合・発展
／体系化

数学の事象について統合的・発展的に考え,
問題を解決することができます。

日常生活や社会の事象を数理的に捉え,
問題を解決することができます。

事象を数理的に捉え, 数学の問題を見いだし, 問題を自立的、協働的に解決することができます。

※各場面で、言語活動を充実

※これらのプロセスは、自立的にときに協働的に行い、それぞれに主目的に取り組めるようになります。
※それぞれのプロセスを振り返り、評価・改善することができる。

算数・数学における問題発見・解決のプロセスと育成すべき資質・能力

事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決することができます。

日常生活や社会の事象を数理的に捉え、
数学的に処理し、問題を解決することができます。

数学の事象について統合的・発展的に考え、
問題を解決することができます。

- A1 日常生活や社会の問題を数理的に捉えることについて
○事象の数量等に着目して数学的な問題を見いだす力
○事象の特徴を捉えて数学的な表現をする力(事象を数学化する力)

数学的に表現した問題

- B 数学を活用した問題解決に向けて、構想・見通しを立てることについて
○数学的な問題の本質を見いだす力(洞察力)
○数学的な問題を解決するための見通しを立てる力(構想力)

焦点化された問題

- C 焦点化された問題を解決することについて
○目的に応じて数・式、図、表、グラフなどを活用し、一定の手順にしたがって数学的に処理する力

数学的な見方や考え方のよさを見いだす力

- D1 解決過程を振り返り、得られた結果を意味づけたり、活用したりすることについて
○得られた結果を元の事象に戻してその意味を考える力
○様々な事象に活用する力

- D2 解決過程を振り返るなどして概念を形成したり、体系化したりすることについて
○数学的な見方や考え方のよさを見いだす力

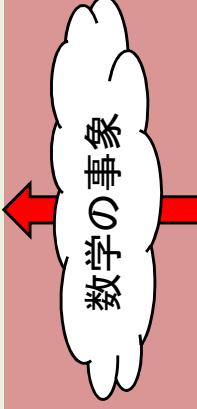
- E 数学的な表現を用いて、人々と交流し合うことについて
○数学的な表現を用いた説明を理解したり評価したりする力
○目的に応じて、自分の考えなどを数学的な表現を用いて説明する力

思考・判断

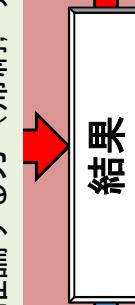
表現

人間性

- A2 数学の事象における問題を数学的に捉えることについて
○数学の事象から問題を見いだす力
○事象の特徴を捉え、数学化する力
○得られた結果を基に拡張・一般化する力



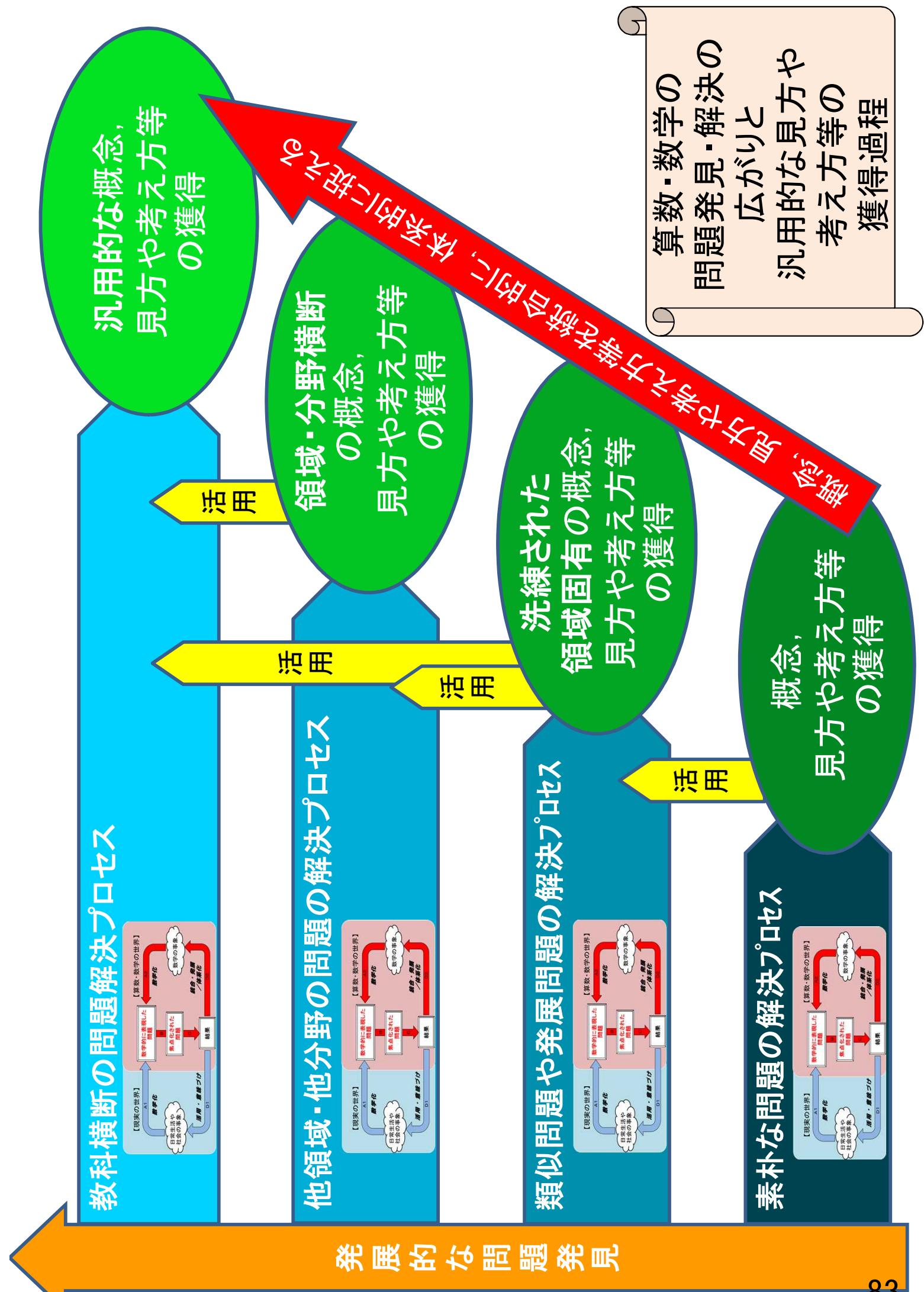
- D2 解決過程を振り返るなどして概念を形成したり、体系化したりすることについて
○数学的な見方や考え方のよさを見いだす力
○得られた結果を基に批判的に検討し、体系的に組み立てていく力
○見いたした事柄を既習の知識と結びつけ、概念を広げたり深めたりする力
○統合的・発展的に考える力



結果

※これらの力は必ずしもこの位置のみに位置づくわけではない

F 学習に向かう力、態度について
○過程や結果を吟味し、評価・改善する態度
○多面的に考え、粘り強く問題の発見や解決に取り組む態度



理科ワーキンググループにおける検討事項

1. 理科を通じて育成すべき資質・能力について
 - ・理科を学ぶ本質的な意義や他教科との関連性について
 - ・三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
 - i) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
 - ii) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
 - iii) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性など）
 - ・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を通じた理科において育成すべき資質・能力の系統性について
2. アクティブラーニングの三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき理科の指導等の改善充実の在り方について
3. 資質・能力の育成のために重視すべき理科の評価の在り方について
4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

個別の知識や技能

思考力・判断力・表現力等

資質・能力の育成のために重視すべき学習過程等の例

- 参考：<選択科目：数理探究(仮称)>
- 探究的な学習を自ら遂行するための知識・技能
 - 既に有している知識・技能の活用及び探究を通じて得る内容に関する知識や探究についての技能
 - 探究を通して新しい知識を得る意義についての認識
 - 研究倫理についての基本的な理解

<選択科目：数理探究(仮称)を含めない

- 知識・技能の深化
- 高等学校理科における概念や原理・法則の体系的理解
- 必履修科目>
- 高等学校理科における基本的な概念や原理・法則の体系的理解
- 科学的探究についての理解
- 探究のためには必要な観察・実験等の技能

高等学校

<必履修科目：数理探究(仮称)を含めない

- 課題解決能力（論理的・分析的・統合的）
- 考察する力
- 新たなものを作り出す力
- 科学的な見方や考え方、自然に対する多面的なものの見方
- 自然の事象を目的意識を持つて観察・実験し、科学的に探究したり、科学的な根拠をもとに表現したりする力

中学校

- 中学校理科における基本的な概念や原理・法則の体系的理解
- 科学的探究についての基本的な理解
- 探究のために必要な観察・実験等の基礎的な技能（安全への配慮、器具などの操作、測定の方法、データの記録等）

小学校

- 自然事象に関する性質や基本的な概念、規則性などの体系的理解
- 理科を学ぶ意義の理解
- 科学的に問題解決を行うために必要な観察・実験等の基礎的な技能（安全への配慮、器具などの操作、測定の方法、データの記録等）



理科の各領域における特徴的な見方 (20160309 案)

1 科学の目的

科学の目的は、自然事象を説明できる法則や理論を構築していくこと

2 理科の各領域における特徴的な見方を考える前提：法則や理論の構築という視点から整理することが必要

表 1 理科の各領域における特徴的な見方

領 域		地 球	
見方・考え方	エネルギー	粒 子	生 命
自然の事物・現象を主として量的・関係的な視点で捉える	自然の事物・現象を主として質的・実体的な視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を主として多様性と共通性の視点で捉える	地球や宇宙に関する自然の事物・現象を主として時間的・空間的な視点で捉える
高次的に捉える		* 中学校から実体はあるが見えない(不可視)レベルの原子、分子レベルで事象を捉える * 高等学校では、事象をより包括的・高次的に捉える	
学校段階の違い(内容の階層性の広がり)			
小学校	「見える(可視) レベル」	「物レベル」	「個体～生態系レベル」
中学校	「見える(可視)～見えない(不可視) レベル」	「物～物質レベル」	「細胞～個体～生態系レベル」
高等学校	「見える(可視)～見えない(不可視) レベル」	「物質レベル」(マクロとミクロの視点)	「分子～細胞～個体～生態系レベル」

平成 28 年 3 月 9 日 教 育 課 程 部 会 理 科 ワ キ ン グ グ ル プ
総合 4 - 3

表2 理科の各領域における特徴的な見方の整理例

20160309

		領 域			地 球
		工 ネ ル ギ ー	粒 子	生 命	
見 方	自然の事物・現象を主として量的・関係的な視点で捉える	自然の事物・現象を主として量的・実体的な視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を主として多様性と共通性の視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を主として時間的・空間的な視点で捉える	地球や宇宙に関する自然の事物・現象
小学校 【事象を分節化しない】	自然の事物・現象を「見える（可視）レベル」において、主として量的・関係的な視点で捉える 例：豆電球の明るさについて、電池の数（量）や直列・並列つなぎの関係で捉える	自然の事物・現象を「物レベル」において、主として量的・実体的な視点で捉える 例：昆虫や植物の成長や体のつくりにっこから実体として存在することを捉える	生命に関する自然の事物・現象を「個体～生態系レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：土地のつくりや変化について、侵食・運搬・堆積の関係を時間的・空間的な視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を「身のまわり（見える）レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：昆虫や植物の成長や体のつくりにっこから実体として存在することを捉える	地球や宇宙に関する自然の事物・現象を「身のまわり（見える）レベル」において、主として時間的・空間的な視点で捉える
中学校	自然の事物・現象を「見える（可視）レベル～見えない（不可視レベル）」において、主として量的・関係的な視点で捉える 例：電気に関する現象について、電流、電圧、抵抗（量）の関係をオームの法則の関係で捉える	自然の事物・現象を「物～物質レベル」において、主として質的・実体的な視点で捉える 例：物質やその変化について、原子や分子を化学変化で実体的に捉える	生命に関する自然の事物・現象を「細胞～個体～生態系レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：植物や動物の体のつくりと動きについて、多様性と共通性の視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を「細胞～個体～生態系レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：植物や動物の体のつくりと動きについて、多様性と共通性の視点で捉える	地球や宇宙に関する自然の事物・現象を「身のまわり（見える）～地球（地球周辺）レベル」において、主として時間的・空間的な視点で捉える
高等学校 【事象を工ネルギー、粒子、生命、地球に分節化する】	自然の事物・現象を「見える（可視）レベル～見えない（不可視レベル）」において、主として量的・関係的な視点で捉えるとともに、より包括的・高次的に捉える 例：電気抵抗にかかる現象について、物質の違いから包括的・高次的に捉える	自然の事物・現象を「物質レベル」において、主として質的・実体的な視点で捉えるとともに、より包括的・高次的に捉える 例：物質の構成粒子について、原子の構造や電子配列から包括的・高次的に捉える	生命に関する自然の事物・現象を「分子～細胞～個体～生態系レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：生物と遺伝子について、多様性と共通性の視点で捉える	生命に関する自然の事物・現象を「分子～細胞～個体～生態系レベル」において、主として多様性と共通性の視点で捉える 例：プレートの運動や火山活動と地震について、時間的・空間的な視点で捉える	

資質・能力を育むために重視すべき学習過程等の例(たたき台)(高等学校基礎科目の例)

20160309案



*1 課題解決の過程は、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では、そのプロセスの一部のみを扱ってもいい。

*2 全ての学習過程において、今までに身に付いた資質・能力や既習の知識・技能を活用する力が求められる。

*3 意見交換や議論の際には、あらかじめ個人で考えることが重要である。また、他者とのかわりの中で合意を形成したり、自分の考え方を修正したりする力が求められる。

【たたき台】
【たたき台】
【たたき台】

表：各教科等の評価の趣旨

評価の観点（論点整理）		個別の知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
高等学校 理科	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に記録する技能を身に付けている。	・自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。	・自然の事物・現象に主体的にいかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、獲得した知識・技能を日常生活や社会に生かそうとしている。	・自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、獲得した知識・技能を日常生活に生かそうとしている。	論教平 科成育 2 一 ヤ羅 ン グ程 3 ル部 9 リ吟ロ
中学校 理科	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に記録する技能の基礎を身に付けている。	・自然の事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもつて観察、実験などをを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	・自然の事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもつて観察、実験などをを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	・自然の事物・現象に親しみ、積極的に自然の事物・現象を調べようとするとともに、獲得した知識・技能を身の回りの自然の事物・現象に生かそうとしている。	論教平 科成育 2 一 ヤ羅 ン グ程 3 ル部 9 リ吟ロ
小学校 理科	・自然の事物・現象を観察し、実験を計画的に実施し、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、それらの過程や結果を的確に記録することができます。 ・自然の事物・現象の性質や規則性、相互の関係などについて理解している。	・自然の事物・現象から問題を見いだし、既習事項や生活経験をもとに予想や仮説、解決の方法を発想したり、得られた結果を予想などと比べながら妥当な考え方をつくりだしたりして、考察し表現しながら問題を解決している。	・自然の事物・現象から問題を見いだし、既習事項や生活経験をもとに予想や仮説、解決の方法を発想したり、得られた結果を予想などと比べながら妥当な考え方をつくりだしたりして、考察し表現しながら問題を解決している。	論教平 科成育 2 一 ヤ羅 ン グ程 3 ル部 9 リ吟ロ	